

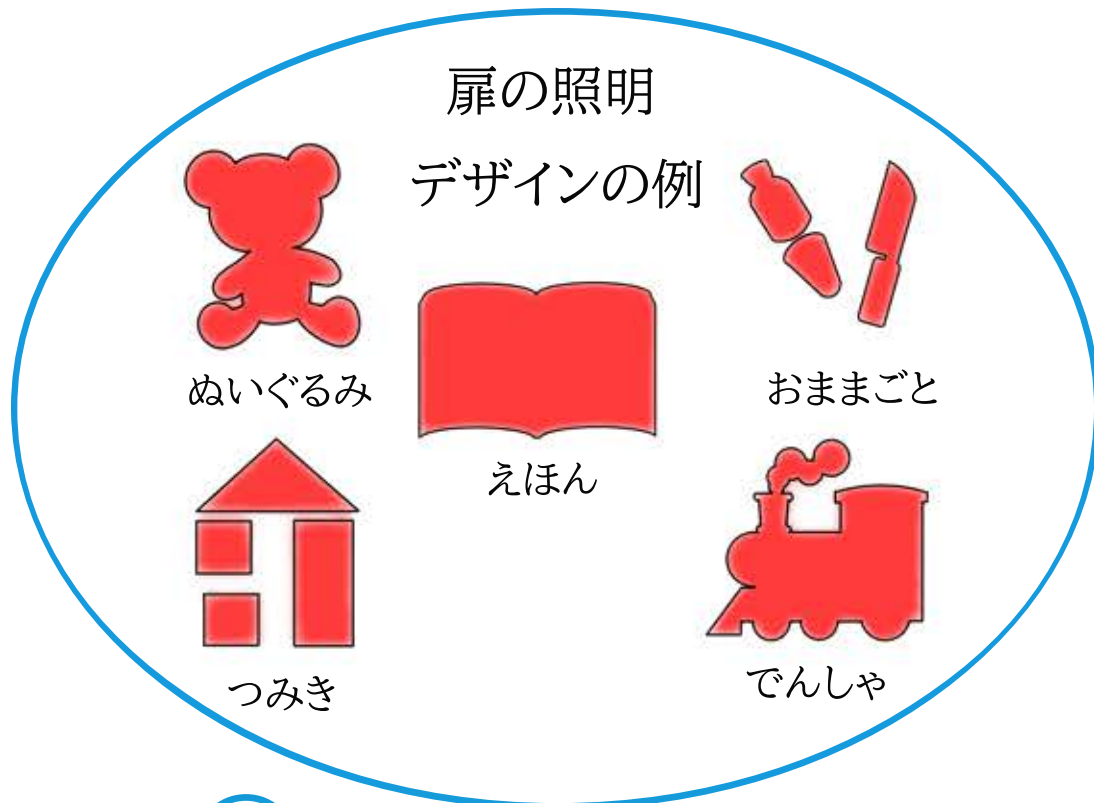
優秀賞

「おかたづけシンゴウ」 大手前大学 金岡 七海

「塔」 武庫川女子大学 森久 陽和

おかたづけシンゴウ ～片付けをゲーム感覚に～

幼稚園などに通うくらいの年齢の子どもが自主的におかたづけができるように促す照明。教育用の照明として、信号の色の意味やおもちゃの分類を覚えることを手助けする。片付けの際に棚の中におもちゃを入れていくほど、扉に設置した照明の色が赤色→黄色→青色に変化し、すべての棚の照明が青色になったらおかたづけが完了、消灯する。赤色→黄色→青色の順番である理由は、青になって片付けが終われば次の活動に移れるという意味を持たせている。

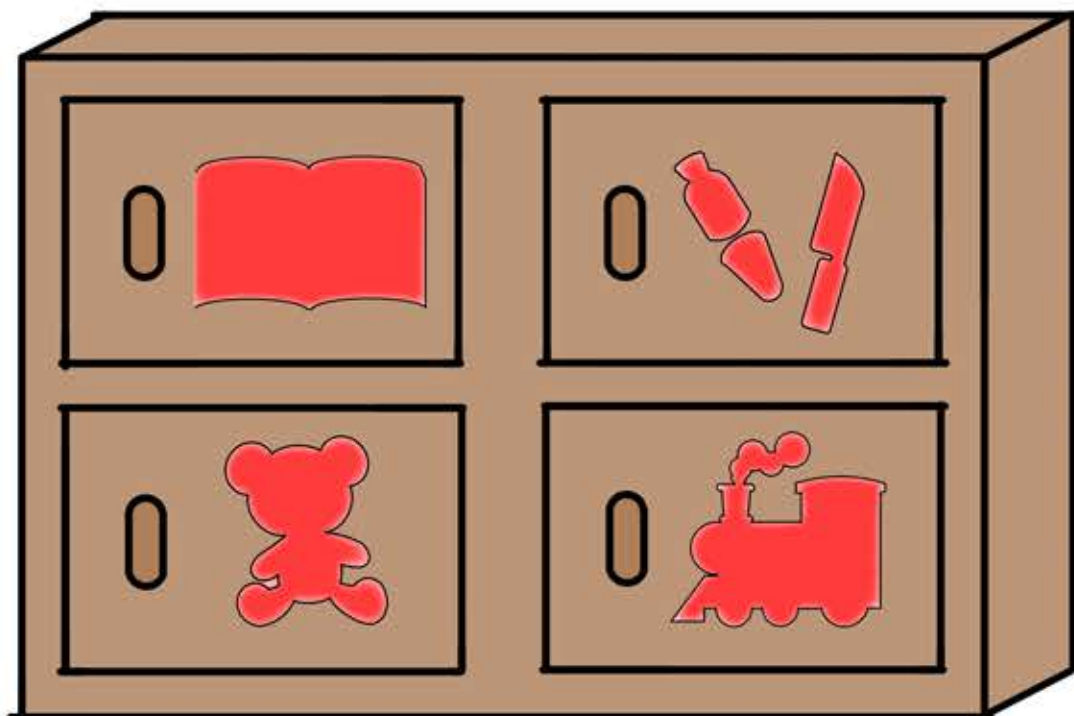


おままごとセットはここ！

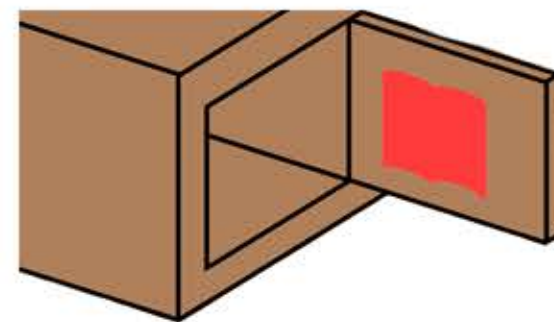
扉の照明の光色変化

重さ： 0%～70% 70%～100% 100% 消灯

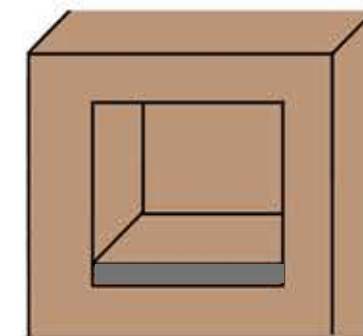
おもちゃの分類をイラストで示すことで、どの棚にどのおもちゃを片付けるかを覚えることができる。



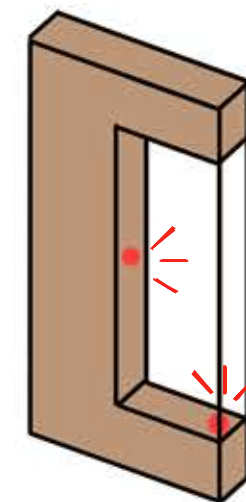
仕組み（使い方）



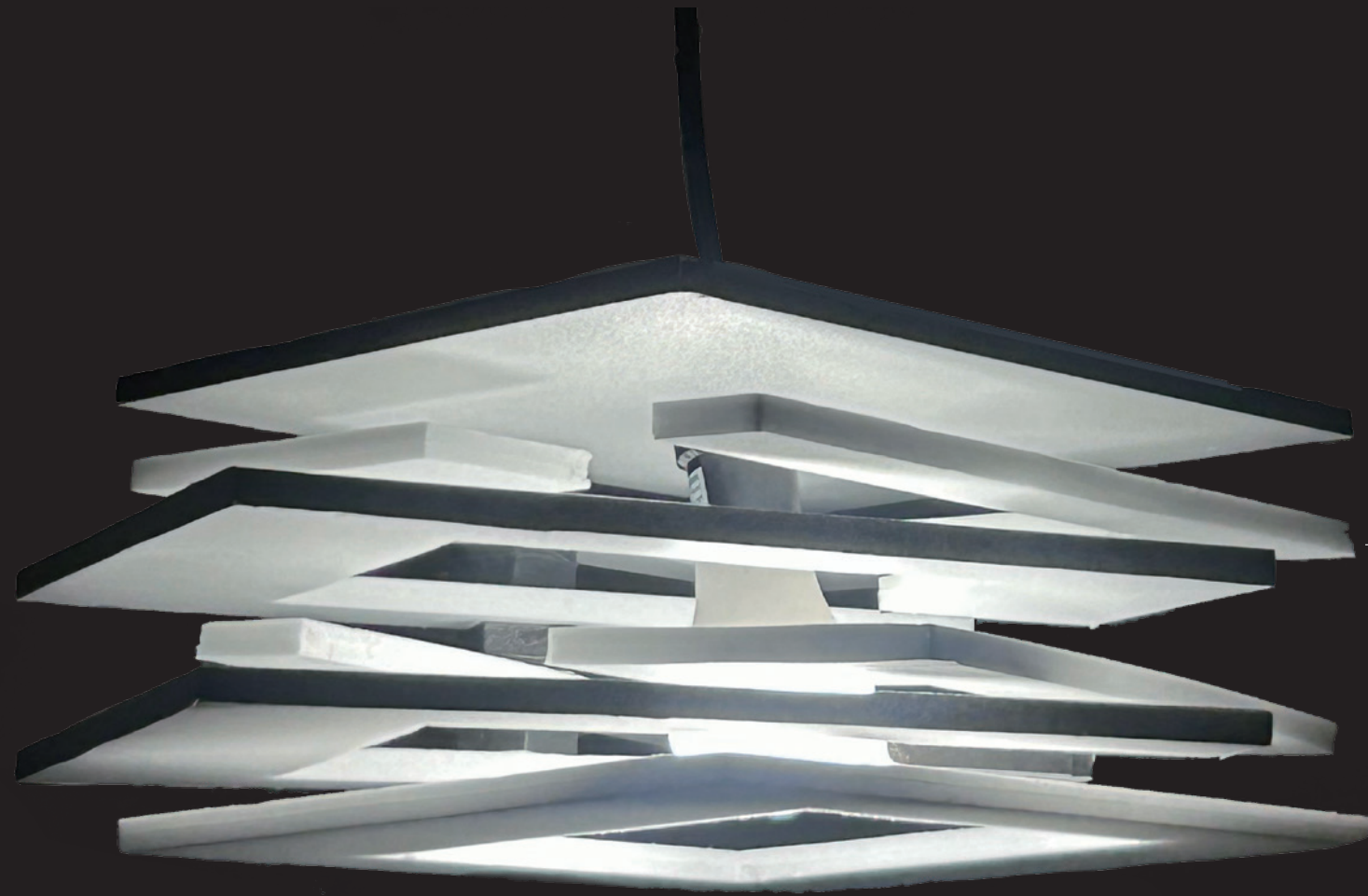
扉を開けても照明の色が分かる



棚の下にはかりを設置して重さを感じ



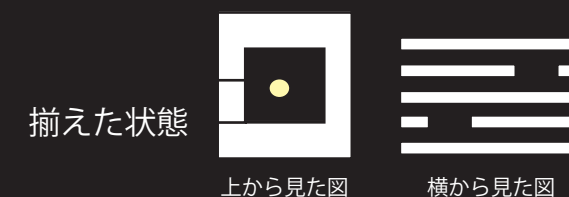
扉内部にLED光源が内蔵されている



塔

tou

五重塔のように空高くそびえ立ち、存在感がありながらも絶妙なバランスが美しいペンダントライト



material：スチレンボード

私は夜寝る前にベッドでくつろぐ時間が好きで、大切にしている。
しかし、その際の照明に困ることがある。真っ暗の中スマートフォンを見るのは目に悪いし、かといって明るすぎると目が覚めてしまう。
その問題を解決できるような照明があればいいなと思い、提案した。

あかりをつけると左の写真のように、まるで水中から見た水面のような模様が壁に出来る。
1番下はマグネットで板をつけることが出来るため、半直接形照明から全般拡散形照明に変えることが可能である。よって、夜は直接光を浴びることがなく、程よい明るさの心地よい空間が生まれる。



入 選

「灯の葉 あかりのは」 大手前大学 林 希圭

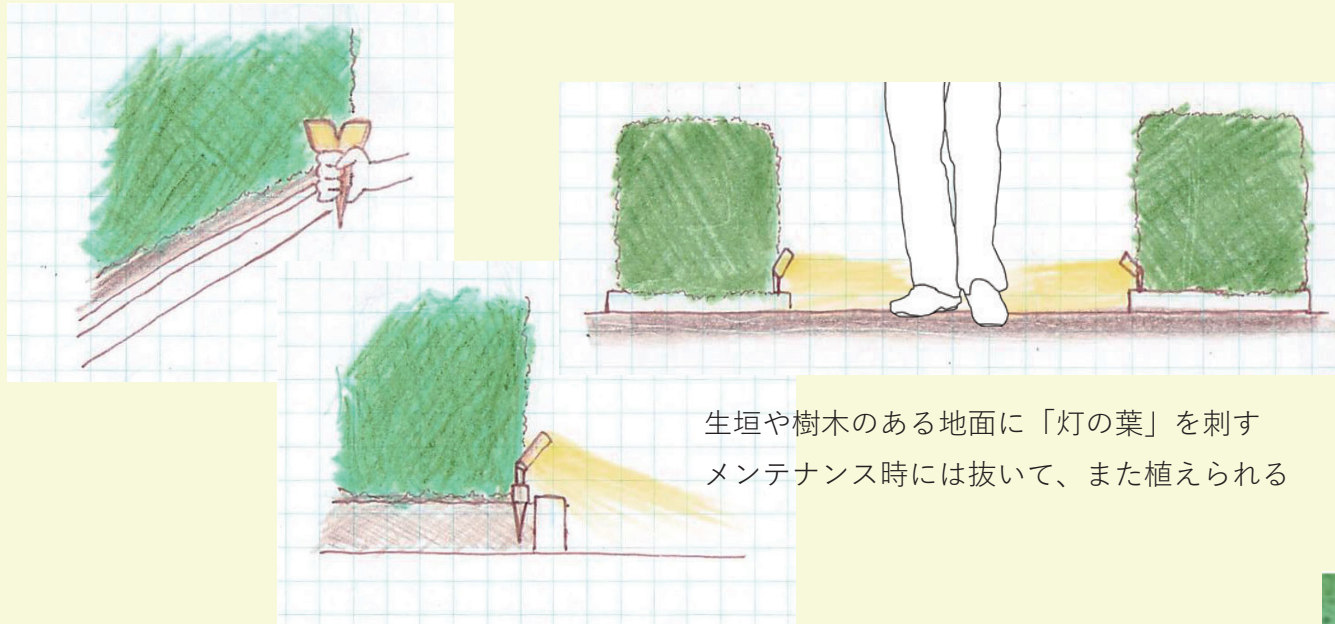
「ウィルライトチェア ～持続可能な車椅子～」 大手前大学 川口 涼

「なでて寝 ～ぬくもりの明かり～」 滋賀県立大学 重水 愛唯

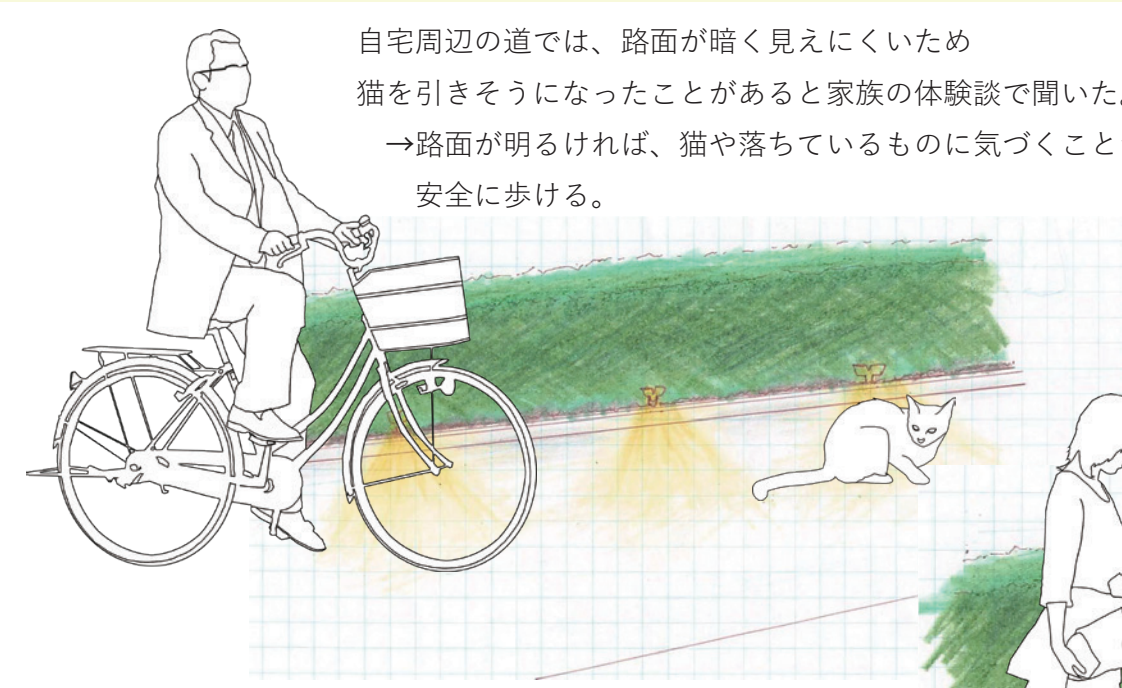
「Bloom lamp」 武庫川女子大学 武田 梨花

灯の葉 あかりのは

アイデアのきっかけは、自宅周辺の道。道沿いに樹木や生垣が多く、街灯があっても生垣などが影となって足元が暗い。生垣のある道は花や植物があるという点で景観のよさなどメリットはあるが、それにたいして暗くなりやすい道だと気づいた。生垣や樹木のある道に設置しやすいように「植える灯り」をコンセプトに生垣や樹木の陰で暗くなった道を照らし、足元を明るくできる照明を考えた。

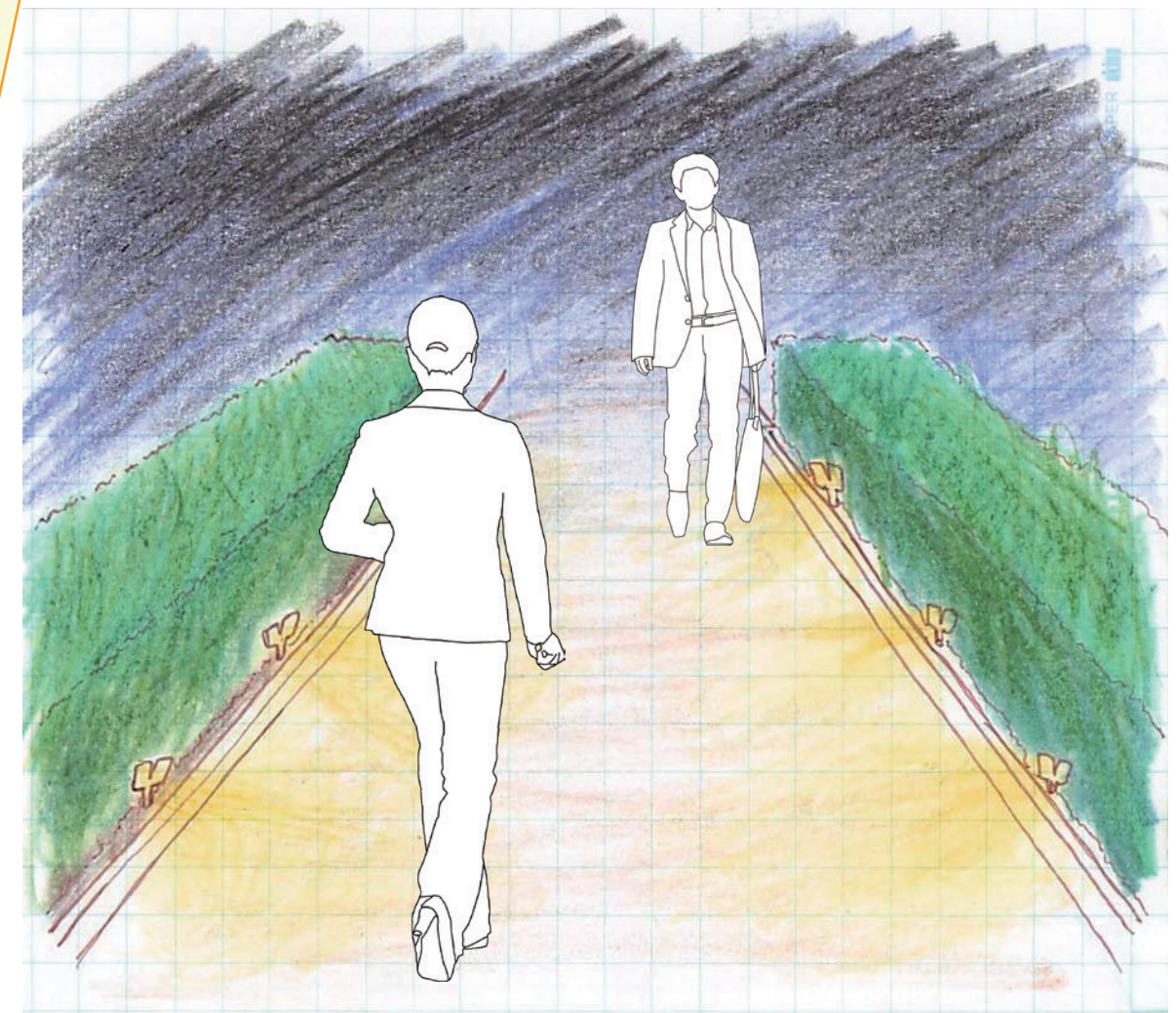
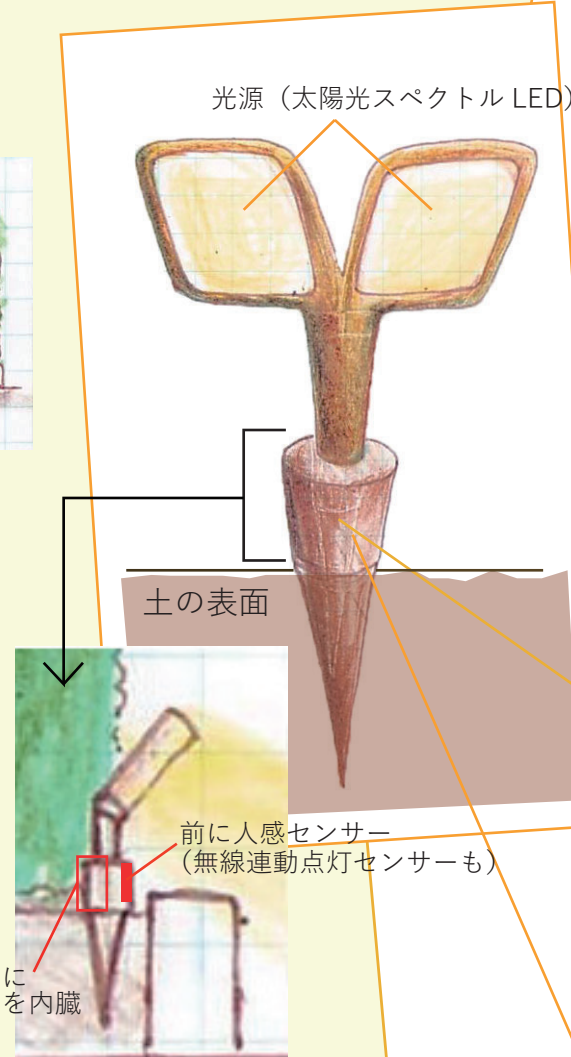
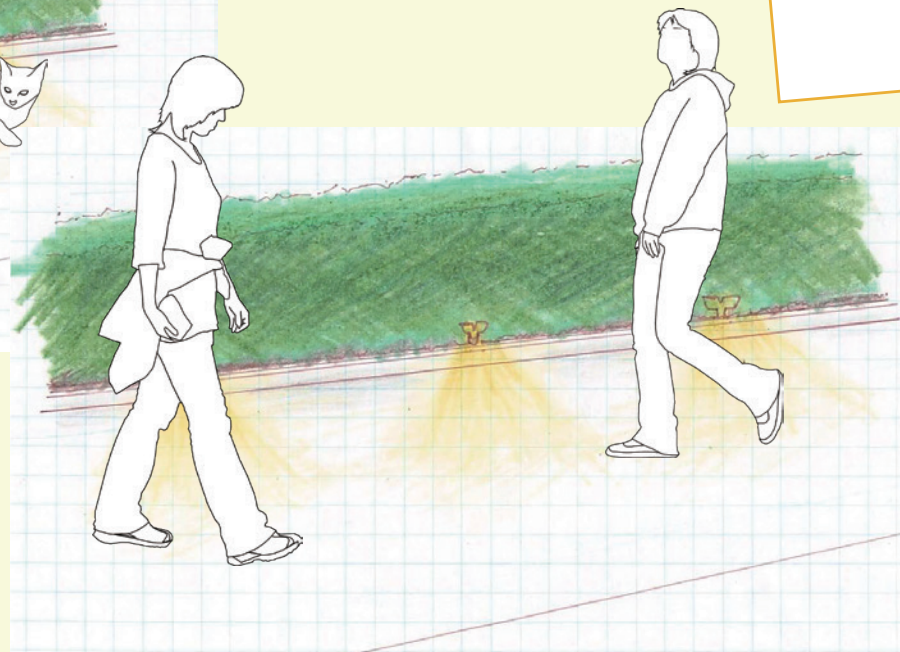


生垣や樹木のある地面に「灯の葉」を刺す
メンテナンス時には抜いて、また植えられる



自宅周辺の道では、路面が暗く見えにくい
ため猫を引きそうになったことがあると家族の体験談で聞いた。
→路面が明るければ、猫や落ちているものに気づくことができ
安全に歩ける。

地面に灯の葉を刺し、路面近くに光源を設置することで、目に光が直接入ることもなく眩しく感じることもなく歩ける。



下部の太くなっている部分には人感センサーと無線連動点灯のセンサーをつけていて、電池式の照明。光は植物の生育に影響することもあるため、人が通る必要最低限の時だけ道を照らす。人感センサーによって夜、植物が光に当たる時間を最小限に抑え、尚且つ太陽光スペクトルのLEDを使用すれば、少しでも植物に負担の少ない街灯になるのではと考えている。

人感センサーと無線連動点灯のセンサーをつけることで、人が通ると照明がつき、連動して近くにある照明がついていく→道の先の方まで照らしてくれる。



ウィルライトチェアー

～持続可能な車椅子～

現在の車椅子は高齢者、または障がい者の方が多く使用している。
車椅子の場合、夜間の行動が制限される。夜間は段差や障害物が見えにくく、
交通リスクが増加するためである。

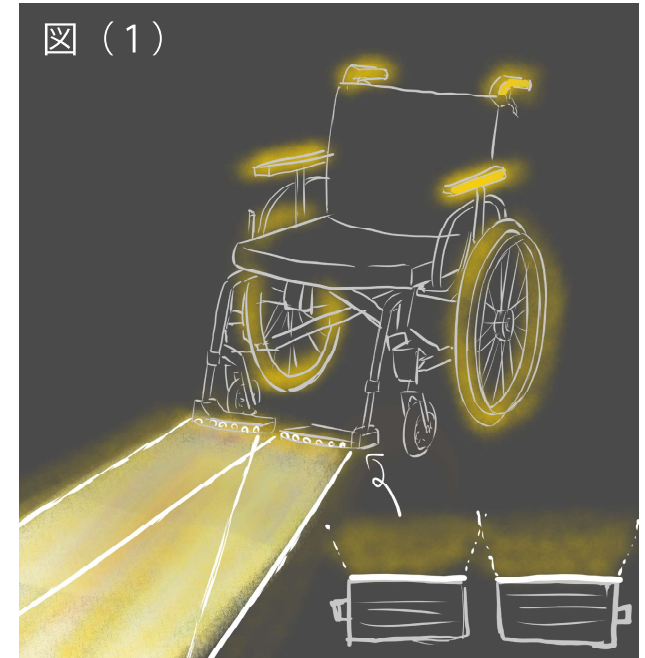
そこで私はそれらを解決するため図（１）のように車椅子前方やパーツを照らす照明のある車椅子
椅子を考えた。また、常に光っているのではなく照度センサーを背面に付けることで明るい時
（場所）で点灯しない。

また持続的なアイデアとして発電機（ダイナモ）を自転車と同じように車輪の部分に取り付け
る。（図（２））

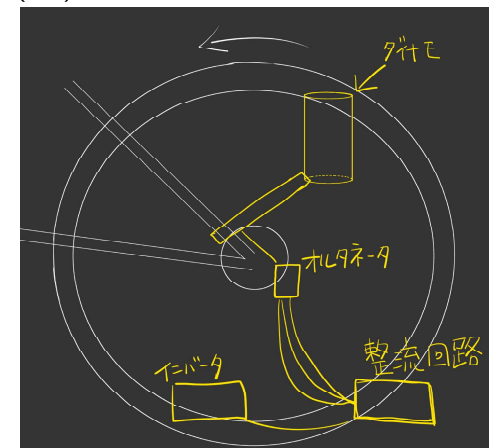
そのようにすることで、昼は無駄に電力を消費せず夜間での使用のために充電して
おくことが可能になる。

またモバイルアプリなどを使用し明るさ点灯、消灯の切り替えを任意でできれば
もっと便利になると考えた。

ウィルライトチェアーによって高齢者や障がい者の方々が安全に安心して街に出歩けるよう
になるとよい。



図（２）



なでて寝

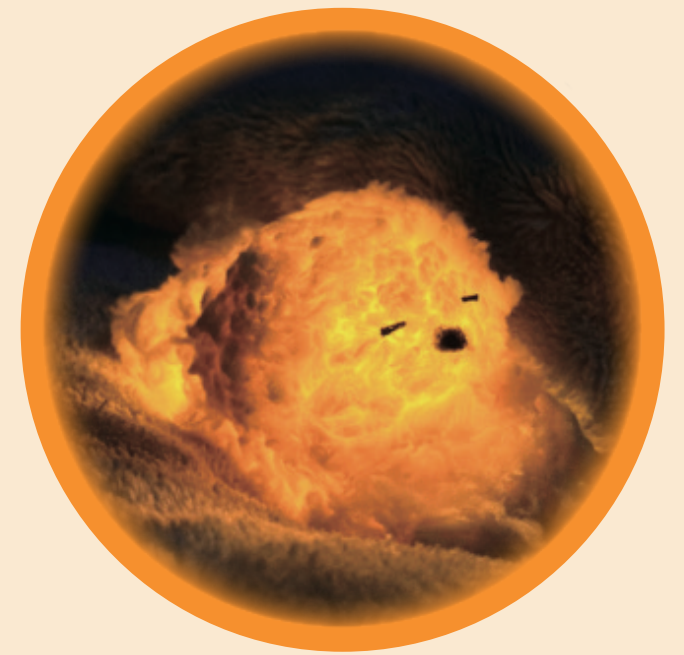
～ぬくもりの明かり～



寝る前のひとときを一緒に過ごす、
犬モチーフの照明器具。
今夜はスマホを置いて、わんちゃんの
暖かさに包まれながら眠りませんか。

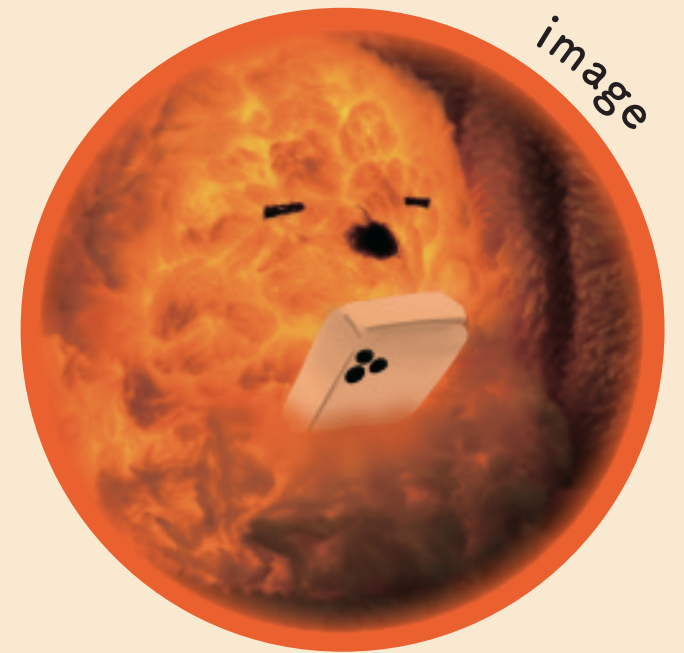
Concept

寝る前の時間をスマホを見て過ごしてしまうという人は多いのではないのでしょうか。そんな人に向けた就寝前の時間にリラックスして過ごすための照明器具です。
タイマー付きなので付けっぱなしでも安心して眠れます。



Color

光源の色は快適な睡眠に効果的な電球色。オレンジ色の光は人にぬくもりと安心感を与えます。
前足にスマホを預けることによりスイッチがつく仕組みなので、自然とスマホから離れられます。



Warmth

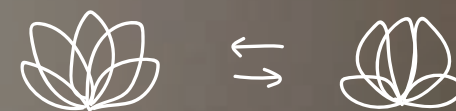
LEDの発光時の温度特性を活かし、照明器具の表面に触れるとちょうど犬の体温のように感じられます。
ふわふわの手触りと温かさは、本物の犬と戯れているような気分になさせてくれます。



Bloom lamp

～日常に華やかさを～

花を飾るには毎日のお手入れが必要となり、手間がかかる。
花の代わりにこのランプを飾れば、手入れいらずで華やかな印象に。
「bloom」は花の咲き始めを意味し、花が少しずつ咲いていく様子や
柔らかい光が広がっていくイメージを表現している。
花びらの角度を調節することで光をおさえたいときはつぼみの形、
明るくしたいときは花を咲かせ、明るさと雰囲気を変えることができる。



異素材の紙と布を使っているため、光の透過性が重なり方で変化。
カフェ、寝室、ダイニングなどどこにおいても相性が良く、
部屋全体が華やかになるデザインに。



奨励賞

「TREE LIGHT」 武庫川女子大学 藤本 明日海

「Contour Light」 大手前大学 岡本 歩実



TREE LIGHT

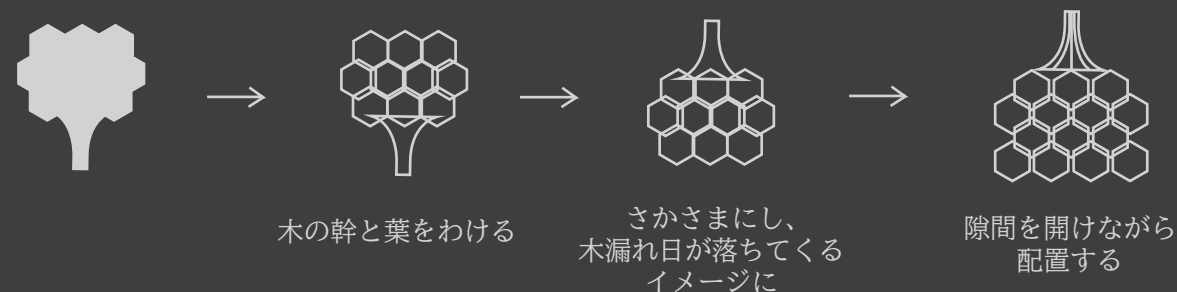
— Concept —

木漏れ日が落ちてくるような穏やかな光

部屋の中でも自然の中にいるかのような温もりを感じることができるペンダントライト。

葉の間から太陽の日差しが差し込んでいる様子を和紙を使って表現した。奥は明るく、見ている面は暗く、明暗の差を楽しむことができる。

— Diagram —



— Material・Size —

越前和紙・スチレンボード(1mm厚)・LED電球(E26)

シェード寸法 W:200mm D:200mm H:150mm

— Example —

一人の空間や小さな空間で使用するによってこの照明のデザインやコンパクト感を際立たせることができる。

調光は、昼白色では和紙そのものの白さがよく伝わってしまいまぶしくなるため、温白色や電球色の温かい光の方が木漏れ日のような光になり効果的に周囲を照らしてくれる。



昼白色



温白色

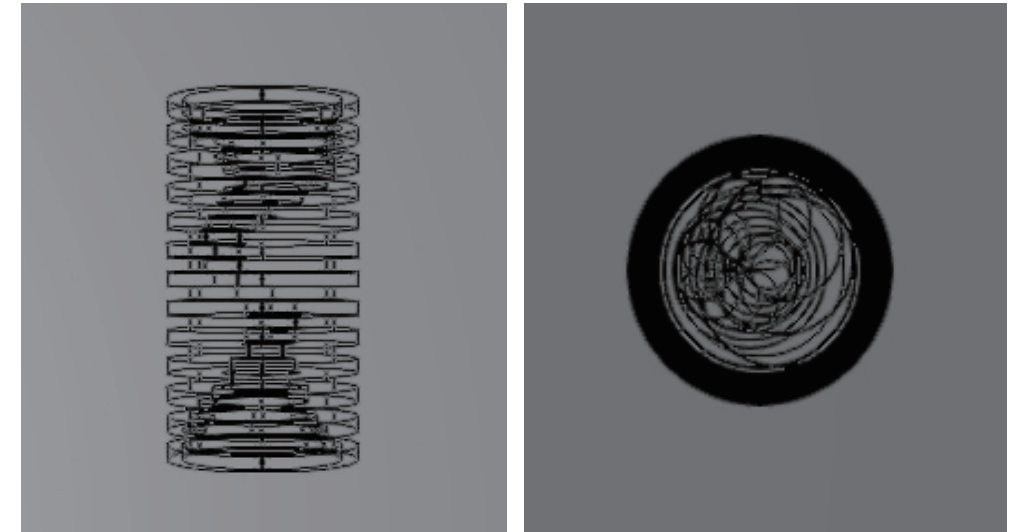


電球色

Contour Light



素 材 アクリル板 テープライト
サイズ φ120×225mm



不安定なはずなのに
安定する揺らぎの中で
導いてくれるような温かい安心感を抱く

穴が空いた円板を連続して重ねて
新しく生まれる造形で
安定と不安定という真反対の要素が
合わさり共存する光を表現